

学校だより 三和中 JUMP

三和中学校 1 8 3

新しい年

丸山 薫

新しいノートブックの
第一ページをめくるように
今年のはじめての朝がきた
今年のはじめての太陽がのぼった

新しいノートブックの
第一ページが光るように
今年の雪がまぶしくつよく
ぼくの顔に反射した

新しいノートブックの
かがやく第一ページの上に
第一行を書き入れるように
ぼくは雪を踏んで学校へ行った

新しいノートブックの
第一ページに書いた
第一行をながめるように
ぼくは自分の足跡をふりかえった

賀正

幸多き年で

ありますよう

お祈り致します。

校長 宮里直哉

何となく

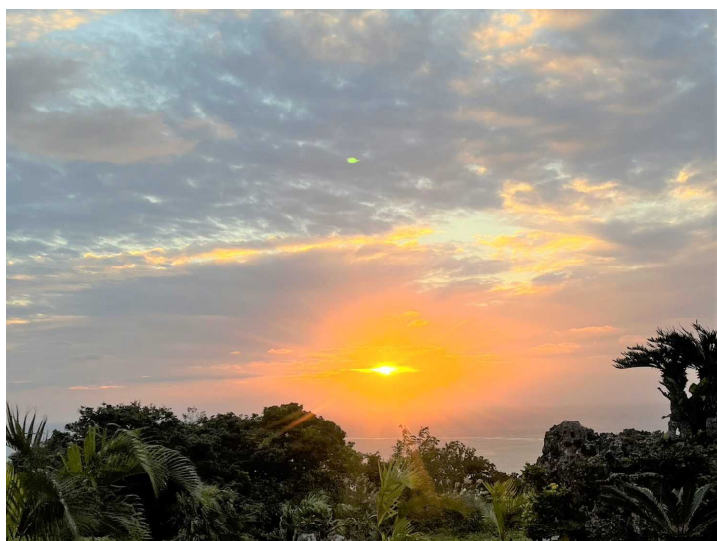
ことしは良きこと

ある如し

元旦の朝晴れて

風なし

啄木



令和 5 年元旦 初日の出 玉城より

皆さん、あけましておめでとうございます。
いよいよ三学期が始まりました。それぞれの学年のまとめの時期です。とりわけ三年生にとっては中学校生活最後の時であり、自己の進路を決定する大切な日々です。何事にも悔いが残らないように全力を出していくことを願っています。また、一、二年生も進級を目の前にして、基礎をしっかり固めて充実した生活を送ることを期待します。

年の初めには誰もが「今年こそは」と、心に期した抱負があると思います。しかし、その気持ちも一日二日と日がたつにつれ薄れ、惰性に流されてしまうことがあります。一度立てた目標を忘れずにその実現に向けて努力することが大切です。人間は夢や希望、目標があるから生きられるのです。目標も長い将来を見通した大きなものもあれば、明日をどうするという小さなものもあります。まずは、三か月後の新学年に、なりたい自分を思い浮かべて目標を決めてはどうでしょうか。

ここで、皆さんに短歌を紹介します。親鸞というお坊さんが詠んだ短歌です。「明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の

吹かぬものかは」親鸞が 9 歳の時、仏門に入る決心をしてお寺を訪ねました。が、すでに夜だったので、「明日の朝になったら式をしてあげましょう」と言われました。しかし、親鸞は「明日まで待てません」と言い、その時詠まれたのがこの歌と伝わっています。この歌の意味は、「今美しく咲いている桜を、明日も見ることができたらと安心していても、夜半に強い風が吹いて散ってしまうかもしれない」ということですが、親鸞は、自分の命を桜の花に喩え、「明日自分の命があるかどうか分からない、だからこそ今を精一杯大事に生きていきたい」との思いが込められています。

私は、時折この親鸞の詠まれた歌を思い出し、自分を律するようになっています。世の中には、戦争により、家や家族を失い避難生活を余儀なくされている方々や、貧困で学校で勉強することでもできない方々もいます。このような現実を聞いても、目前の誘惑や自分の都合に振り回されて、命の尊さや恵まれた環境での生活の有難さへ意識することがほとんどないように思います。当然のように自分には明日があり、明後日もあり、そして 10 年先、20 年先もあると思っています。知らず知らずのうちにそういうことを前提とした生活習慣となり、今この時間を大切に生きられていないことも多くあるのではないのでしょうか。

今日から三学期です。今までは「明日やればいい」と言っていて、先延ばしにしていることはないのでしょうか。「もう少し落ち着いたら、新しいことを考えよう」「もう少し落ち着いたら、改善に取り掛かろう」「もう少し落ち着いたら、本気で勉強を始めよう」と言っていて先延ばしし、結局なにも手をつけられなかった今までの生活を改め、「今を精一杯生きる」ことを目標に、何事も先送りせず取り組む生活を送りたいものです。もてる時間を大切に使って、夢に、未来に、近づく努力を続ける皆さんにエールを送ります。

各学年の三学期に

向けた決意表明

三学期に向けて
一年代表 A

入学して九か月。早くも今年

度最後の学期を迎えました。一、二学期を一緒に過ごすす中で私達一年生のいい所をたくさん見つけることができました。

一つ目は、一組二組関係なくみんな仲が良いことです。二つ目は、学び合いができることです。男女関係なく教え合ったりグループで自分の意見をいい合える学年だと思います。

しかし、その反面課題もあります。それは、「みそあじ運動」の「あ」と「じ」です。まず、「あ」の「あいさつ」は、一学期に比べて積極的にやっています。先輩方がよいお手本を示してくれるので私達一年生も見習って元気な明るいあいさつができるようにしたいです。「じ」の「じかんのけじめ」は、一学期に比べて中学校生活に慣れたせいか気持ちに少しゆるみが出てきて授業中に居眠りや私語があったので今後は、授業と休み時間のメリハリをつけて、授業に集中できる雰囲気を作っていきます。

裏面に続きます

三学期は、二年生に進級するための準備期間です。今の二年生や三年生のように新一年生のお手本になれるようにみんながお互いを高め合えるような一学年を目指して三学期を頑張りたいです。

三学期の目標 一二年代表 B

初めに、僕は三学期に頑張りたいことが二つあり、まず一分前黙想を頑張っていきたいと思っています。そう思った理由は二つあります。一つ目は、二学期に一分前黙想ができていないことが何回もあり、その度に授業がちよつと遅れたりすることがあって気持ちよく授業に入ることができなかったため、一分前黙想は大切にしたいと思いました。そして、二つ目の理由は、普段の生活でも役立つからです。例えば、友達と待ち合わせをする時に予定の何分前かに来ておくと遅れることがないのでこういった普段の生活でも役立つと思います。なので一分前黙想を頑張っていきたいです。

つと少なくなつたので、移動教室の時遅れないように気をつけたいと思いました。

最後に、学年プロ委員と協力して、三学期は、より良い二年にしたいと思っています。

三学期の抱負 三年代表 C

あけましておめでとうございませう。冬休みは楽しく過ごせましたか。私はほぼ毎日塾だったのできつかったです。

いよいよ一年のまとめの三学期になりました。三年生は受験勉強のラストスパートです。また私たち三年生は今学期で卒業です。そこで、これからも続けてほしいことと、改善すべきことについて挙げます。

これからも続けてほしいことは二つあり、一つ目は、誰にでも挨拶をすることです。通りがかった先生などに挨拶しているところをよく見かけます。

二つ目は、人の話を聞く時の態度がいいところです。朝会や授業中などの時、話している人の顔を見て、真剣に聞いている姿は、相手のことを考えながら話を聞いているなど感じます。

この二つを私たち三年生が後輩に引き継げられるよう最後まで続けていきたいと思います。

改善すべきことは休み時間の使い方についてです。授業開始直前に急いで準備している人を見かけるので、早め次の準備をすることで改善できると思います。早めに準備することであせらずに休み時間から授業の切り替えができます。

改善すべきことは改善し、良いところは更にのびしていきましょう。

また悔いの残らないよう、日々努力を怠らず、心身共に成長できる三学期にしたいです。

三和人材育成会による 読み聞かせ補助

十二月二十二日、三和人材育成会より寄贈していただいた、本校読み聞かせボランティア「さしぐさの会」への「読み聞かせ補助金」贈呈を行いました。

三和人材育成会は毎年、三和地域の小中学生に対して各種検定の補助、講演会補助など大きな支援をいただいています。

各種検定にチャレンジする皆さんに対して補助があります。積極的に各種検定、英語スキットコンテスト等にチャレンジしましょう。

三和人材育成会の皆さま、さしぐさの会の皆さま、いつも生徒へのご支援ありがとうございます。



始業式

整然と始業式が行われ、原稿を覚えて発表していました。

新学期,気分も新たに校内の掲示物紹介

Welcome Mr.RIP ! リップ先生よろしくお願いします



一月六日(金)より、AETの Healey, Robert Jude George (ヒーリー ロバート ジュード ジョージ)先生が着任されました。

明るく朗らかに、「RIP(リップ)と呼んでください」と始業式のご挨拶がありました。

ドンドン話しかけてジャンジャン英語力を伸ばしてほしいと思います。

1月4日(水)
第17回全日本小学生・中学生書道紙上展
準ベスト50に選出 1年 Dさん

1年生が習字の腕前を發揮してくれました



